ドラマティック日本史　第４弾

義経の首は本物か？
～歴史のミステリー～

講　師：林　和清　先生
日　時：6 月 30 日（月）10：00～11：40

■藤原秀衡と源義経の出会い

義経：

1159 年誕生　12 月、平治の乱（数え年１歳）

1160 年父義朝　敗死　（２歳）

1162 年頃　母常盤が一条長城と再婚

1169 年頃　鞍馬寺で稚児となる（11 歳）

1174 年頃　鞍馬寺を出奔して奥州平和泉へ

下る（16 歳）藤原秀衡は義経一行を歓迎した。

■総大将・義経

①頼朝との再会とその後：義経に遠征軍の指揮を委ねるようになる。1183 後白河院の養成を受け頼朝は義経を代官として都へ送る。大将軍になり数万の軍勢を率いて宇治川の戦いで敵の軍勢を破って入京し、敗走した義仲を討ち取る。

②西国での平家軍との戦い：一ノ谷合戦　屋島合戦　壇ノ浦の戦いなど・・・

■頼朝との対立

1185 年　義経 27 歳　①5 月、平宗盛親子を護送　頼朝に鎌倉入りを拒否される　②都に戻る　③8 月伊予守任官　検非違使を兼任　④10 月 16 日　後白河法皇に頼朝追討の宣旨を要請　10 月 17 日　土佐棒昌俊に襲撃される　10 月 18 日　頼朝追討の宣旨が下される　11 月 3 日　都を落ちる。

■再び平泉へ

1186 年　逃避行（28 歳）1187 年 2 月　奥州へ落ち延びる　1189 年　襲撃を受け衣川館で自害　享年満 30 歳

■義経の首は本物なのか？

討ち取られた義経の首が何故一ヶ月以上も遅れて頼朝に届けられたのか。首実検を行ったのは和田義盛と梶原景時であり、頼朝は首を直接には見なかったという。景時は、これは義経の首でない！と即座に否定したが、義盛は焼け首だから異なって見えるのは当然。しかも眼中に光を宿しているので、鎌倉へ入れると祟りがあるとして首を頼朝に見せずに、海に捨てたとされている。

■義経北行伝説

非業の死に終わった義経の生涯は、人々の同情を呼びこのような心情を指して判官贔屓というようになった。後世の人々の判官贔屓の心情は、義経は衣川で死んでおらず、奥州から北に逃げたのだという不死伝説を生みだした。

■義経は北へ逃れたのか？

自害する前の年に周到な計略のもと、津軽半島から北海道に渡ったという義経研究に半生を捧げた歴史家佐々木勝三氏の説もある。

■義経北行伝説の信憑性

ルートが一本である。頼朝は首実検していない。

頼朝の真の狙いは何か？：平泉を滅ぼすことにあった！！